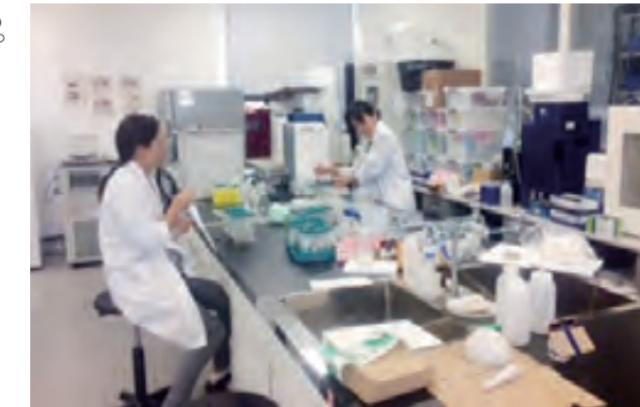


# 『OKINAWAN Silk』を世界へ オンリーワンのものづくりと メイドイン沖縄へのこだわり

沖縄UKAMI養蚕

沖縄UKAMI養蚕(国頭郡今帰仁村字平敷、仲宗根豊一社長、0980・56・3367、<http://www.okinawa-ukami.co.jp/>)は、沖縄県出身である社長の「故郷に貢献したい、地域を盛り上げたい、沖縄に恩返しをしたい」という熱い想いから、廃校となつた中学校の校舎や耕作放棄地などを活用し、日本の発展に貢献した歴史ある養蚕業を開拓している。沖縄の地の利や優位性を活かし、従来の蚕とは種類の異なる「純沖縄エリ蚕」の大規模養蚕に成功した。

エリ蚕から採れる繭を、非繊維分野である化粧品や健康食品などに添加する原材料としての商品(OKINAWAN Silkパウダー)開発から製造販売までを行うことで、他社の追随を許さない高附加值と差別化を図つてい



产学連携のもと、新製品の開発・研究を進めている

また、同社はオンラインのものづくりとメイドイン沖縄にこだわるとともに、企業や地域の課題を解決する入口には「学」があると考え、積極的に产学研連携を進め、最先端の研究に取組んでいる。

今年4月には、产学共同で基礎研究を行つた『OKINAWAN Silk』を使つた新スキンケアブランド『Vilanje(ヴィランジェ)』を立ち上げ、5月には新商品を発売予定である。

今後は、さまざまな異業種との融合・コラボレーションを視野に入れ、『OKINAWAN Silk』を世界へ発信するとともに、沖縄でのものづくり産業の裾野を広げ、地域創生につながる地場産業への成長をめざしている。

